

# 「考え、議論する道德」の実現に向けた授業構想〈小・道德〉

特別研修員 道德 関口 亜紀子（小学校教諭）

## 主題名 集団での役割

内容項目C-(16)よりよい学校生活、集団生活の充実

教材名 『たのむよ、班長』

### 授業改善の視点

問題解決的な学習で、解決すべき問題を児童から引き出させ、登場人物の思いを明確にしてから解決策について話し合うようにする。中心発問では、自分との関わりで考えることを通して、より深く問題の本質に目を向けさせる。

## 主題名 広い心

内容項目B-(11)相互理解、寛容

教材名 『折れたタワー』

### 授業改善の視点

体験的な学習で、主人公が葛藤しながらも道德的価値に気付く場面を役割演技で再現し、「広い心」をもつことの難しさを理解させる。また、演じた後の気持ちや役割演技を見て感じたことを問い、心情と行為を振り返らせることにより、無意識の行為を意識化できるようにする。

過程

## 主な学習活動（○発問 ◎中心発問）

導入

### 1. 本時で扱う道德的価値を想起し、問題意識をもつ

○みんながグループ活動をする中で、困ったことはありますか。みんなのアンケート結果を見てみましょう。

#### 道德的諸価値についての理解を深めるために

・アンケート結果や写真を提示し、グループ活動で困った経験について確認することで、ねらいとする道德的価値への方向付けを行う。

みんなで活動するとき、大切なことは何だろう。

### 1. 本時で扱う道德的価値を想起し、問題意識をもつ

○「誰だって失敗することはあるよ」というように、友達を許した経験はありますか。

#### 道德的諸価値についての理解を深めるために

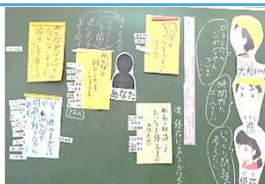
・本時の主題「広い心」について、友達との関わりから、いつも「広い心」をもつことの難しさに気付かせ、ねらいとする道德的価値への方向付けを行う。

どうしたら、広い心をもてるのだろう。

展開

### 2. 道德的な問題を探究する

○大和たちのグループは、何が問題となっているのでしょうか。  
○大和、進、優花はどのようにしたかったのでしょうか。（問題のよりよい解決のために）



＜黒板への提示＞

児童が問題を見付けやすくするために、範読しながら挿絵や登場人物を黒板に提示する。

#### ◎あなたがこのグループにいたら、どうしますか。

個人の考えを聞き、類型化して板書（思考の可視化）

- ①自分と似た考えに、ネームプレートを貼らせる。
- ②似た考えで少人数グループを作り、グループの考えのよさや、更により考えはないか話し合わせる。
- ③グループの考えを学級全体で共有させる。
- ④考えが変わったら、ネームプレートを動かさせることで、自分の考えを見直させる。

○みんなで活動する時、大切なことは何だろうか。

#### 物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるために

・中心発問で引き出した考えを更に多面的・多角的に発展させるため、グループでの話し合いで、「なぜ問題なのか」「迷っていることは何か」「自分ならどのようにするか」について考えさせる。  
・導入での学習課題を再び提示し、解決策を身近な問題につなげる。

### 2. 中心的な教材によって、本時で扱う道德的価値の追求を行う

○のりおに責められたひろしは、どのような気持ちになったでしょう。【役割演技①】



＜教師と児童の役割演技＞

○じっとうつむいているのりおに、みんなならどのような言葉をかけますか。【役割演技②】

主人公が葛藤しながらも、道德的価値に気付く場面を役割演技で再現し、「広い心」をもつことの難しさを理解させる。

#### ◎なぜ、のりおはひろしを許したのだろう。

#### 物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるために

・役割演技をしたり見たりして、児童から出た意見を全体で共有し、多様な考えに触れさせた後、中心発問について考えさせる。  
・主人公の気持ちが大きく変化する場面を中心発問とし、それを考えさせることで道德的価値の理解を深められるようにする。  
・補助発問や問い返しを行うことにより、道德的行為をすることの難しさに気付かせ、自分自身との関わりで考えられるようにする。

終末

### 3. 本時で扱った道德的価値に対する思いや願い、考えを振り返る

○これからの生活で、みんなで活動する時にどのようなことを心がけていきますか。

#### 自己の生き方についての考えを深めるために

・導入のアンケート結果を活用して、自らの現状を振り返らせ、さらに全体で共有することで、新たな問いや自己の課題についての考えを深めさせる。

### 3. 本時で扱った道德的価値に対する思いや願い、考えを振り返る

○どのようにしたら、広い心をもてるのだろう。これからどのような気持ちで過ごしますか。

#### 自己の生き方についての考えを深めるために

・導入での学習課題を再び提示し、自分なりの考えを整理させる。  
・行為についてだけの意見については、その時の気持ちを聞き、心情にも着目させる。

# 道徳科 学習指導案

平成30年6月 第5学年 指導者 関口 亜紀子

1 主題名 集団での役割 内容項目Cー(16) よりよい学校生活、集団生活の充実

2 教材名 「たのむよ、班長」(出典:日本文教出版)

## 3 主題設定の理由

### (1) ねらいとする道徳的価値について

高学年においては、学級や学校、地域社会において様々な集団に所属しながら、それぞれの目標に合わせて自分の役割を果たさなければならないことが多い。また、集団生活では、自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとすることにより、集団の活動を円滑に進めたり、よりよい集団に変えたり、所属感を高めたりすることにつながる。そして、こうした集団生活の充実は、さらに自分の存在意義を感じ、よりよい生き方を目指そうとすることにつながっていくものと考えられる。そこで、まず、身近な集団(学校生活)の中の自分の役割を自覚し、協力して役割を果たそうとする心情や意欲を育て、集団のために自分が行うべきことはしっかり行う態度を育てられるようにすることが大切である。

### (2) 児童の実態について

5年生となり、児童は、学級やクラブ、委員会と様々な集団の中で、一人一人が係や役割を担い、活動を始めている。校内で中心として活躍する場面が増えてきたことで、高学年としての意識が高まり、自分の役割を自覚し、その責任を果たそうとする児童も多い。しかし、自分の都合を優先させてしまうこともあり、集団のためにできることを主体的に考え、相手の立場になって行動しようとする意識は低い。そこで、集団のために自分ができることを主体的に考え、それぞれの立場や役割を考え、協力して行動することが、役割を自覚し責任を果たすことであるということに気付かせたい。

### (3) 教材について

本教材は、学習船「うみのこ」の班活動であるタウンウォークラリーの話である。主人公が班長を務める班には、さっさと問題を解き早くゴールをしたい班員たちと、じっくり問題を解き確実にゴールしたい班員たちがいて、まとまって活動ができない。協力を大切にしたい主人公がどのようにまとめていけばよいか悩み、苦しむ姿が描かれている。主人公が児童と同年齢であること、宿泊体験という身近な行事を取り上げていることから、児童が自分の生活体験を振り返り、自分事として話し合うことができる。グループ活動で起きた問題についての解決策を考えさせることで、集団における一人一人の役割に気付かせたい。

## 4 指導方針

### ○本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつために

- ・児童が問題意識をもてるように、今までに経験した学級、登校班、委員会などの活動で困ったことについてのアンケート結果を提示する。その際、児童が実際に活動している場面の写真も提示し、雰囲気を出させ、体験を想起しやすくする。

### ○中心的な教材によって、本時で扱う道徳的価値の追求を行うために

- ・集団における一人一人の役割に気付くことができるように、協力をしてくれない班員の間で、協力を大切にしたい主人公が葛藤する場面を取り上げ、自分ならどうするかを考えさせる。
- ・児童が考えを見直したり、深めたりできるように、児童の考えを黒板上に類型化し、自分と似た考えのところにネームプレートを貼らせる。
- ・中心発問で引き出した考えを多面的・多角的な考えに発展させるため、グループでの話し合いで、「なぜ問題なのか」「迷っていることは何か」「自分ならどのようにするか」について考えさせる。
- ・解決策を身近な問題につなげられるように、導入での学習課題を再び提示する。

### ○本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返るために

- ・新たな問いや自己の課題について深めさせるために、導入のアンケート結果を活用して、自らの現状を振り返らせ、更に全体で共有させる。

## 5 本時の展開

### (1) ねらい

班活動で直面する具体的場面から自分ならどのようにするかを考え、全体で話し合うことを通して、集団における自分の役割を自覚し責任を果たそうとする態度を育てる。

### (2) 準備

教師：ワークシート、場面絵、アンケート結果、ネームプレート

### (3) 展開

学習活動と発問	時間	予想される児童の反応	指導上の留意点
<p>1 グループ活動で困った経験を想起する。</p> <p>○みんながグループ活動をする中で、困ったことはありますか。みんなのアンケート結果を見てみましょう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">みんなで活動するとき、大切なことは何だろう。</p>	5分	<p>(アンケート結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分勝手なことをして、迷惑をかける人がある。</li> <li>・わがままを言って、みんなを困らせる人もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経験を想起できるように、児童が活動している写真を掲示する。</li> <li>●事前のアンケート結果の提示により、グループ活動で困った経験について確認することで、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</li> </ul>
<p>2 教材「たのむよ、班長」を読んで考え、話し合う。</p> <p>○大和たちのグループは、何が問題となっているのでしょうか。</p> <p>○大和、進、優花はどのようにしたかったのでしょうか。(問題のよりよい解決のために)</p> <p>◎あなたがこのグループにいたら、どのようにしますか。</p> <p>【問い返し(◇)】</p> <p>◇班長に従うのなら、班長の考えが絶対なのですか。</p> <p>◇グループの中に早く進みたい人がいるけれど、どのようにしますか。</p> <p>◇みんながバラバラの意見だったらどうしますか。</p> <p>◇協力するとは、どのようなことでしょうか。</p>	5分  20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームワークが足りない。</li> <li>・意見がバラバラで、みんなが自分勝手です。</li> <li>・大和はみんなで協力したいと思っています。</li> <li>・進は時間内にゴールしたいと思っています。</li> <li>・優花はじっくり問題を考えたいと思っています。</li> <li>・班長と相談して、どちらを優先するか考えます。</li> <li>・みんなで問題を解きながら進みます。</li> <li>・みんながバラバラにならないで、協力して進みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●解決すべき問題を児童から出させ、登場人物の思いを明確にさせてから解決策について話し合わせる。</li> <li>●大和たちのグループに自分がいたらどうするかを個人で考えさせる。</li> <li>●個人の考えを聞き、黒板上に類型化する。</li> <li>●自分と似ている考えの所に、ネームプレートを貼らせ、全員参加となるようにする。</li> <li>●似た考えで少人数グループを作り、グループの考えのよさや、更により考えはないか話し合わせる。</li> <li>●グループの考えを学級全体で共有する中で、考えが変わったらネームプレートを動かして思考を可視化し、自分の考えを見直したり深めたりできるようにする。</li> <li>●児童同士でも、お互いの考えについて意見を出し合わせる。</li> </ul>
<p>○みんなで活動するとき、大切なことは何だろうか。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人に任せきりにしない。</li> <li>・みんなで意見を出し合って、話し合う。</li> <li>・それぞれができることを考えて行動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●導入での学習課題を再び提示し、解決策を身近な問題につなげる。</li> </ul>
<p>3 これからの自分について考える。</p> <p>○これからの生活で、みんなで活動する時に、どのようなことを心がけていきますか。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで話し合って、みんなが納得できるようにすることを大切にしたい。</li> <li>・自分は勝手な所があるから、みんなで話し合うことを心がけたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●導入のアンケート結果により、自らの現状を振り返らせ、全体で共有させる。</li> <li>●ワークシートに記入させ、発表させることで、価値に対する意欲を高められるようにする。</li> </ul>

### (4) 評価の視点

- 問題の解決策を話し合うことで、集団での役割の自覚について、多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- 問題場面での自分の行動について考えることで、集団での役割の自覚について、自分自身との関わりの中で深めているか。

指導例：主題名 集団での役割 C-(16)よりよい学校生活、集団生活の向上

教材名 『たのむよ、班長』（日本文教出版）第5学年

ねらい：班活動で直面する具体的場面から自分ならどのようにするかを考え、全体で話し合うことを通して、集団における自分の役割を自覚し責任を果たそうとする態度を育てる。

過程

主な学習活動（○発問 ◎中心発問 ◇問い返し）

指導のポイント

導入

1. 本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつ。

- みんながグループ活動をする中で、困ったことはありませんか。みんなのアンケート結果を見てみましょう。
- S：自分勝手なことをして、迷惑をかける人がある。
- S：わがままを言って、みんなを困らせる人もいる。



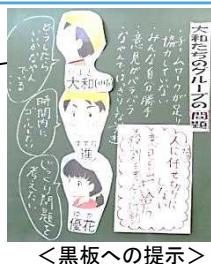
問題意識

- アンケート結果や写真を提示し、グループ活動で困った経験について確認することで、ねらいとする道徳的価値への方向付けを行う。

みんなで活動するとき、大切なことは何だろう。

2. 道徳的な問題を探究する。

- 大和たちのグループは、何が問題となっているのでしょうか。
- S：チームワークが足りない。
- S：意見がバラバラで、みんなが自分勝手。
- 大和、進、優花はどのようにしたかったのでしょうか。（問題のよりよい解決のために）
- S：大和はみんなで協力したいと思っています。
- S：進は時間内にゴールしたいと思っています。
- S：優花はじっくり問題を解決したいと思っています。

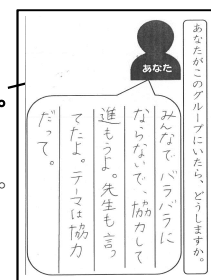


問題の発見

- 範読しながら挿絵や登場人物を黒板に提示することで、児童が問題を見つけやすくする。
- 解決すべき問題を児童から出させ、登場人物の思いを明確にさせてから解決策について話し合わせる。

◎あなたがこのグループにいたら、どのようにしますか。

- S：班長と相談して、どっちを優先するか考えます。
- S：みんなで問題を解きながら進みます。
- S：みんながバラバラにならないで、協力して進みます。

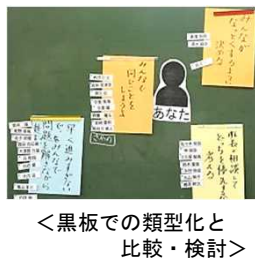


中心発問

- 自分との関わりで考えることを通して、より深く問題の本質に目を向けさせる。
- ワークシートの吹き出しを活用することで、自分の思いを引き出させるようにする。

【学級全体での話し合い】

- S：全員で問題を考えた方が早く進めるよね。
- S：遅くてもいいから、みんなで協力して問題を解く方がいいと思うな。
- ◇グループの中に早く進みたい人があるけれど、どのようにしますか。
- S：みんなで同じことをしようよって言います。
- ◇それはどうしてですか。
- S：班長を困らせてしまっているから、これでは楽しくない。
- S：みんなの意見を聞いて、それに合わせて行動すれば、みんなが楽しめるよ。
- ◇みんながバラバラの意見だったらどのようにしますか。
- S：班長がまとめ役になればいいと思う。
- ◇どのようにまとめるのですか。
- S：班全体のことを考えて、どうしたらいいか決めたい。



問題の発見

- 考えを黒板上に類型化し、思考を可視化することで、自分の考えを見直したり、深めたりできるようにする。
- ①自分と似た考えに、ネームプレートを貼らせる。
- ②似た考えで少人数グループを作り、グループの考えのよさや、さらによりよい考えはないか話し合わせる。
- ③グループの考えを学級全体で共有させる。
- ④考えが変わったら、ネームプレートを動かさせる。

○みんなで活動するとき、大切なことは何だろう。

- S：人に任せきりにしない。
- S：みんなで意見を出し合って、話し合う。
- S：それぞれができることを考えて行動する。

探究のまとめ

- 導入での学習課題を再び提示し、解決策を身近な問題につなげる。

3. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

- これからの生活で、みんなで活動する時にどのようなことを心がけていきますか。
- S：みんなで話し合って、みんなが納得できるようにすることを大切にしたい。
- S：自分は勝手なところがあるから、みんなで話し合うことを心がけたい。

振り返り

- 導入のアンケート結果を活用して、自らの現状を振り返らせ、全体で共有することで、新たな問いや自己の課題についての考えを深めさせる。

終末

評価の視点

- ・問題の解決策を話し合うことで、集団での役割の自覚について、多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- ・問題場面での自分の行動について考えることで、集団での役割の自覚について、自分自身との関わりの中で深めているか。